

自動組み合わせハカリで時間・計量のロスを削減

農家さん：今野拓也さん〈八木田〉

導入機器：組み合わせハカリ（株式会社オーケープランニング製
テーブルコンビ）

栽培品目：トマト、パプリカ

〈ポイント〉

- ＊設定したグラム数で詰める組み合わせを自動決定
- ＊農作物に触れる回数が減り、鮮度もアップ
- ＊「休める農業」でプライベートな時間を確保

—導入しているシステムを教えてください。

今野拓也さん 組み合わせハカリは、定量パック詰めに適した機械です。設定した重さになるように、サイズや重さが異なる農作物の組み合わせを自動で計量します。一つ一つの農作物をS、M、Lといった規格ごとに選別することも可能です。作目に関係なく、とても汎用性の高い製品だと思います。

設定した規格で選別したり、組み合わせを自動で計量するハカリ



—導入のきっかけは？

今野さん ほ場では既にスマート化を進めてきましたが、朝や夕方の調整作業も効率化したいと考えていました。その点、この組み合わせハカリは、私たちの農業にとても合っています。

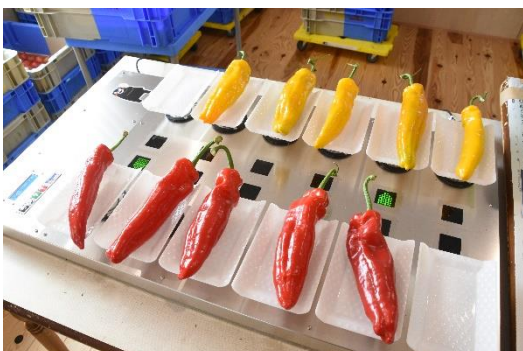
サイズがばらばらになりがちなトマトの選別時間を短縮できましたし、直売所への出荷が多いため、適宜、自分たちの規格に合わせた組み合わせで出荷することができます。

—メリットは？

今野さん これまでは既存の計量ハカリを使い、既定の重さになるまで農作物を何度も取り換えていました。選別を自動化したことで、規格以上に多めに詰めていたことで発生していた計量損失（ロス）が少なくなり、出荷数も増えます。また、人の手が農作物に触れる回数も減るので、鮮度を保つことにもつながります。



既存の計量ハカリ



緑色に示された組み合わせで規定の重さになる

—農業のスマート化をどう考えますか？

今野さん 「楽をする」＝「手を抜く」ではありません。計量に関しては、人より機械の方が正確な仕事をします。

子育て世代として、子どもとの時間をいかに確保するかが一つの課題でした。ほ場での現場作業に加え、朝・夕の調整作業の効率化を進めることで時間的余裕が生まれ、家庭の時間も確保することができます。農業のスマート化を推進し、プライベートの時間を大切にする働き方を目指しています。